

道南太平洋海域スケトウダラニュース

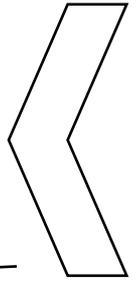
平成17年度 第3号

2005年11月1日

北海道立函館水産試験場室蘭支場

Tel: 0143-22-2327

Fax: 0143-22-7605



道南太平洋スケトウダラ計量魚探調査結果

函館水試調査船金星丸により行われたスケトウダラ計量魚探調査の結果をお知らせします。

- ・調査期間：平成17年10月26日～10月28日
- ・調査海域：道南太平洋の水深200～500m太平洋海域

- ・魚探反応の強い海域は、
胆振海域全域、特に海区182、184（白老・虎杖浜沖）
海区164（日高海域）、海区188（渡島海域）
- ・分布水深は300～400m中心（例年並）
- ・反応の強さは9月より増加

1. スケトウダラと考えられる魚探反応は、9月の調査と比較して広い範囲で観察されました。反応は胆振海域全域で強く、特に白老・虎杖浜沖（海区183、185）で最も強い結果でした。また、日高海域（海区164）、渡島海域（海区189）でも強い反応が観察されました。
2. スケトウダラと考えられる魚群は、水深300～400mを中心に分布しており、漁期前の予想と異なり、ほぼ平年並みの水深となっています。
3. 9月の調査と比較して、各調査線の反応の強さは増加していました。新たに魚群がはいってきていると考えられます。
4. 今後、分布量の増加に伴って漁獲量の増加が期待できますが、反応の強さから判断すると本格的な増加は11月以降になるものと予想されます。
6. 次回調査は11月24～12月1日の予定です。
7. スケトウダラニュースは、インターネットで函館水試のホームページ上からもご覧になれます。

ホームページアドレス <http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/exp/hakodate/>

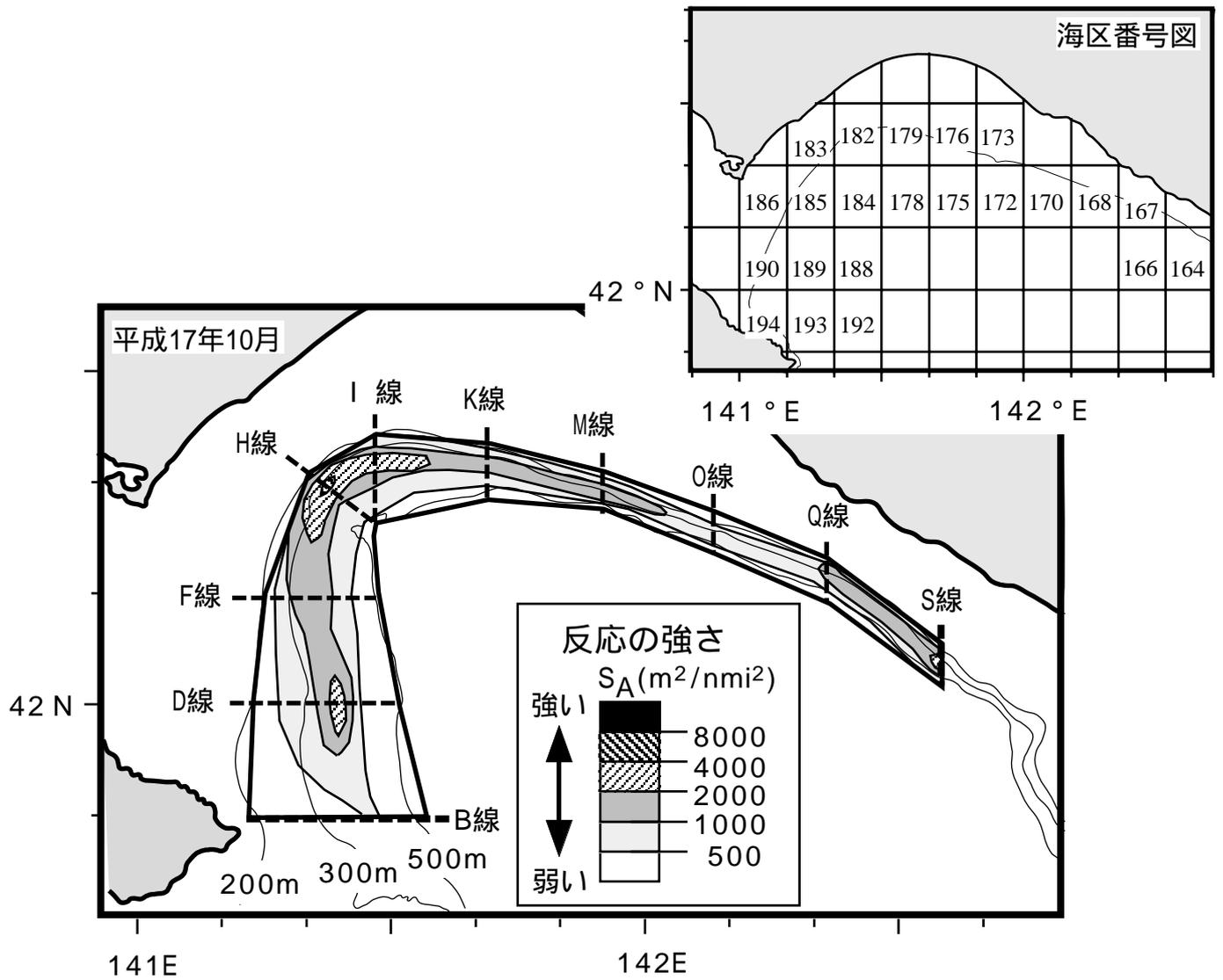


図1. 調査海域における魚群の分布
黒ワクの中が調査範囲

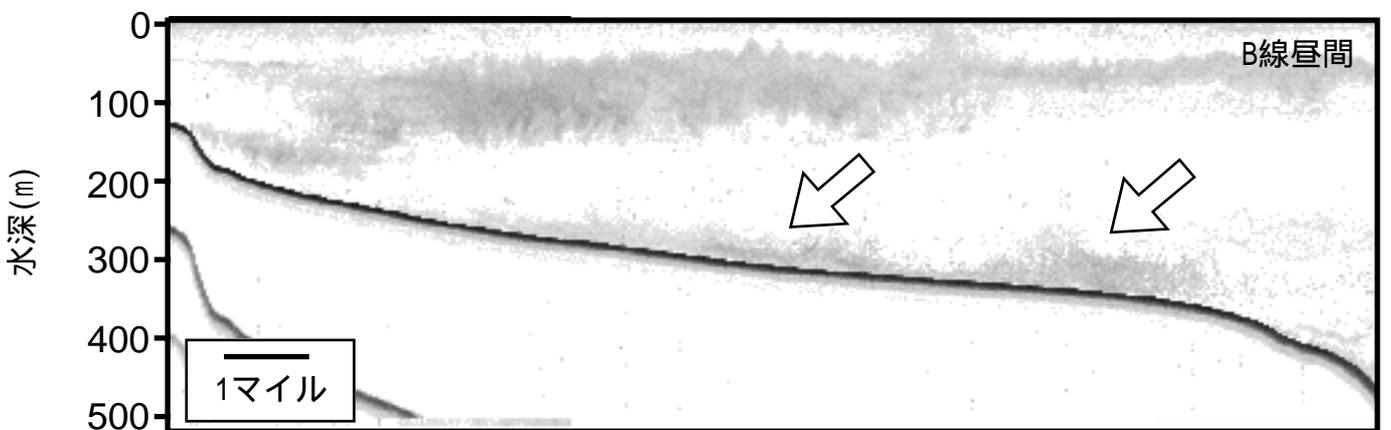


図2. 魚探画像
矢印：スケトウダラと考えられる魚群

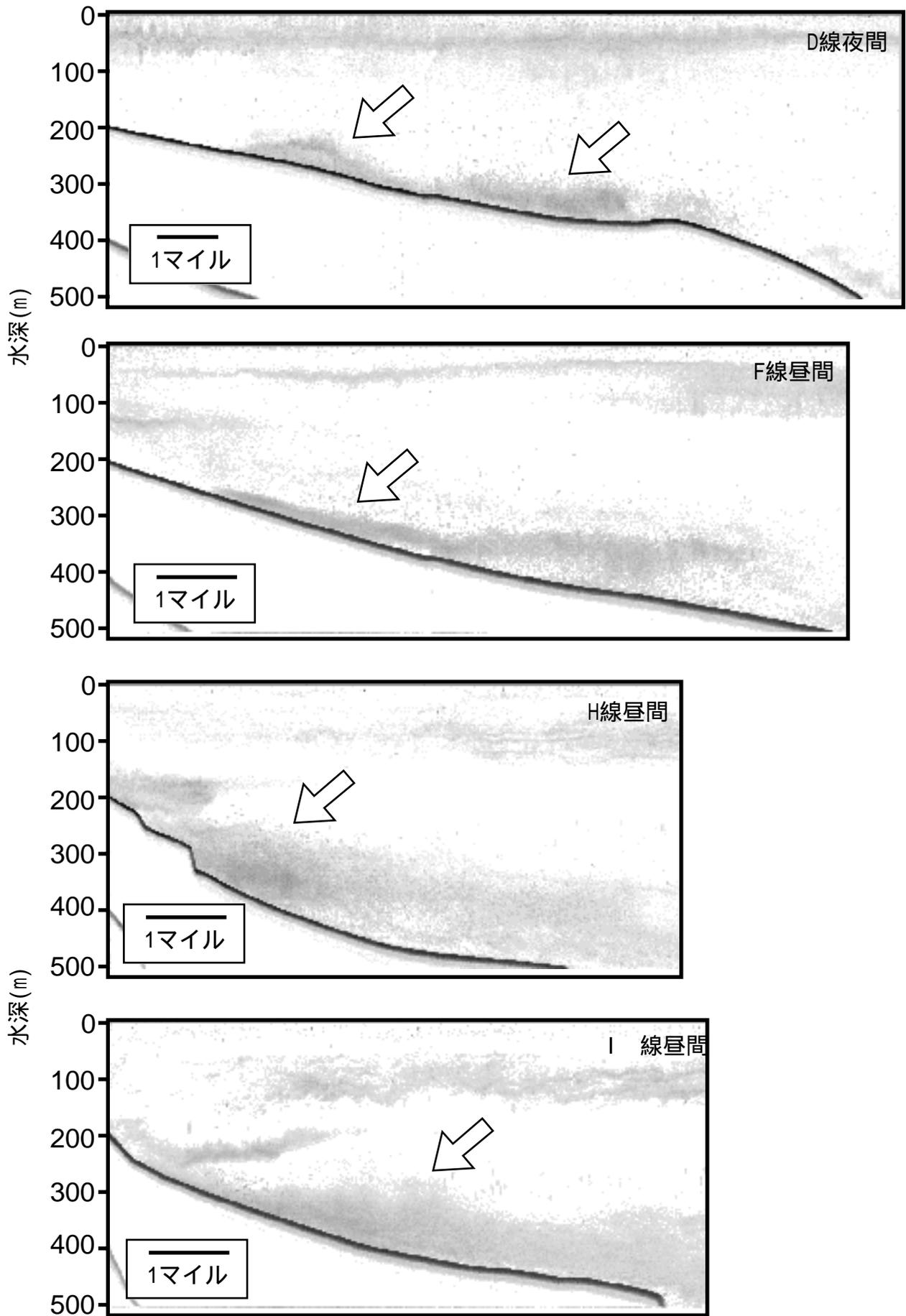


図2 . 魚探画像 つづき
 矢印：スケトウダラと考えられる魚群

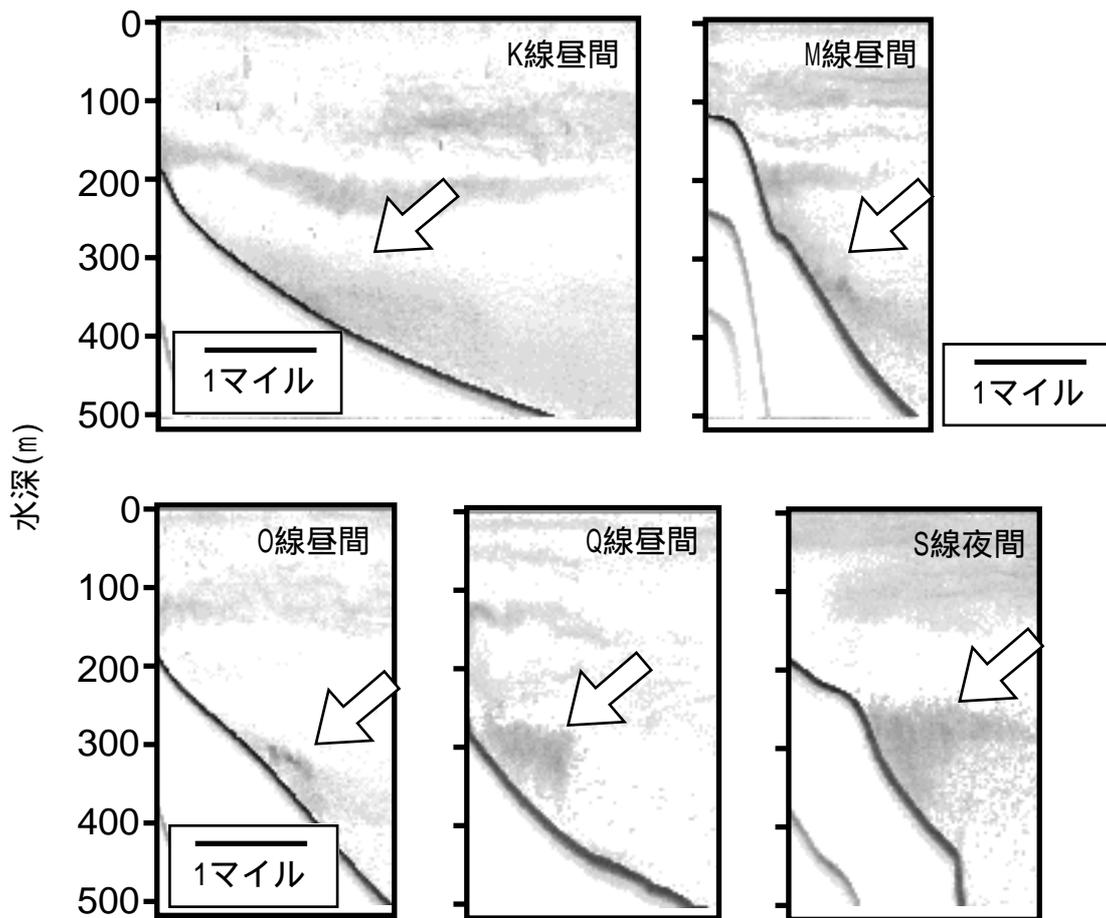


図2 . 魚探画像 つづき
 矢印：スケトウダラと考えられる魚群

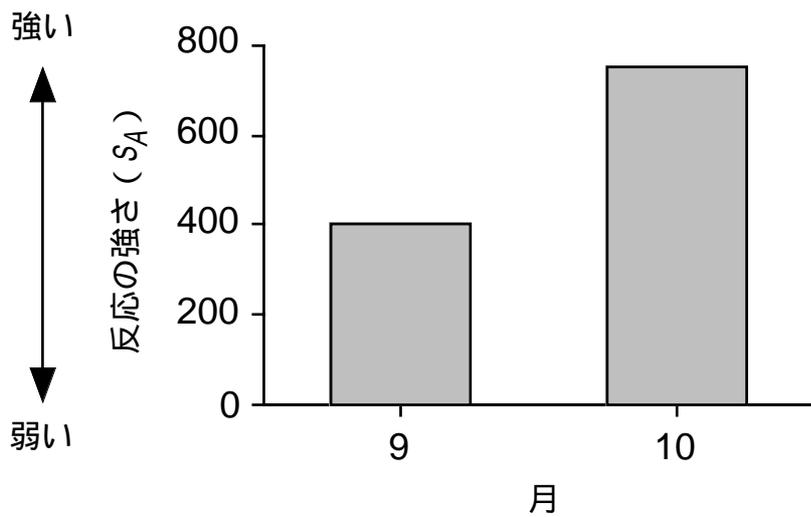


図3 . 魚探反応の強さ (調査海域B~L線の平均値)
 9月は漁期前調査、10月が今回の調査分